

▼別ショットの写真



「水も滴るいい笑顔！」  
今月の表紙は、豊坂小学校の水泳授業の様子を捉えた写真です。入水前に体を水に慣らすため、バシヤバシヤと水を掛け合い、思わず笑顔もこぼれます。この写真を見ると、プールに入りたくなってきましたね。

## 今月の表紙

# みんなの 広場

サークル紹介・みんなの作品展への  
皆さんからの応募をお待ちしています。

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場企画政策課政策情報グループ  
☎62-1111(内線334) FAX63-5139 E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp

## こうたの文化財

### 六栗地区①

#### 六栗郷学校跡

明治5年(1872年)に日本政府により「学制」が公布されたことを受け、坂崎と深溝、六栗に郷学校が設立されました。当時額田県幡豆郡長だった志賀喜代三郎が、自身の私財を投じ、六栗陣屋を兼ねていた志賀家の自宅を増築補強し、教室としました。六栗郷学校は、現在の豊坂小学校の前身です。



(所在地：六栗字山屋敷)

#### 深溝陣屋の門

明治を迎え、深溝陣屋が廃城となると、陣屋の門は六栗の医師で名家であった高橋家に払い下げられ、屋敷の門として使用されることになりました。現在でもその姿を見ることができ、屋根の鬼瓦を観察すると、板倉家の家紋が確認できます。



(所在地：六栗字本郷地内)

## みんなの作品展!

「春の文化展」(着付)からのセレクトです。



「花風」  
杉浦真里さん



「花太鼓」  
手嶋裕見子さん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、企画政策課政策情報グループまでお送りください(デジカメ写真の場合はメールで)。

## 今月の記念日

7月14日は「ゼラチンの日」

「ゼリーの日」

「ゼラチン」といえば、ゼリーやグミなどの洋菓子を連想しますが、それ以外にも暮らしのさまざまな場面で活用されるゼラチンの幅広い用途や魅力をもっと知ってもらおうと制定されました。

ゼラチンがフランス菓子や料理に好んで使われることから、フランスの代表的な記念日である、フランス革命が始まった7月14日が由来になっています。

ゼラチンの起源は、古代エジプトのニカワ製造であるといわれています。ニカワとは天然物を原料とする接着剤で、化学接着剤が発明されるまでさまざまな分野で利用されてきました。例えば、エジプトのピラミッドから出土した棺や調度品などにもニカワが使われていたことが分かっています。また、古くから弦楽器の接着にも使われています。

そのほか、ゼラチンが使用されているのは「工業用」としては写真用フィルムや、印刷紙の「写真乳剤」など、「医薬用」としては、薬のカプセルなどに活用されています。

動物のたんぱく質である「コラーゲン」から抽出されるゼラチンは、高血圧や骨粗しょう症の予防、肌の保湿性の維持など老化防止や美容にも効果があるといわれており、その注目度はますます高まっています。

\*参考資料：日本ゼラチン・コラーゲン工業組合 <http://www.gmi.or.jp/>



# 青春 トーカー

第304走者

やまさき あみ  
**山崎 亜美** さん

**桜坂区在住** 19歳 **職業** 学生  
**血液型** A型 **身長** 151cm  
**好きなタイプ** 優しい人  
**好きな芸能人** 窪田 正孝  
西島 隆弘

私は、大学で中学校の英語科教員免許を取得するための勉強をしています。教員を目指そうと思ったきっかけの1つは、幸田中学校で過ごした日々が私にとって1番成長を感じることであったからです。この経験から、私も生徒にとってかけがえのない時間を過ごせるような場所を作りたいと思うようになりました。そんな夢に少しでも近づくために、現在週に1回学校でボランティアをしています。周りの環境も教育の仕方も違う場所であるため大変ですが、その分学ぶことも多くやりがいを感じています。これからいろいろな経験を積んでいき、幸田町で成長を感じられる素敵な場所が作れるようにしていきたいです。



## はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。  
企画政策課まで。  
本人のご家族にお渡しできます。



## わんぱくだより

「某月某日」  
〜大草保育園〜

「タケノコは…周りにからめるぞー！」

4月・5月と地域の人のご厚意でタケノコ掘りを行いました。最初は、「掘るの大変。」と言っていました。「大きいの見つけたよ。」「根っこは、どこまでつながらってる?」「周りから掘るぞ。」「俺、力持ちだもん。保育園に持って行く。」など、掘れたタケノコを満足気に抱えていました。

園に帰り、子どもたちと相談し、『タケノコご飯』と『タケノコの味噌汁』を作ることに決定しました。まずは、竹のはんこ作り。のこぎりや金づちを用意すると、「やりたい。」と、意欲満々。



火おこしをするため、うちわを出すと、「やりたい。やりたい。」と…手伝ってくれました。うちわであおぎ、いい匂いがし、ちょっと



ぷりぷりのタケノコご飯のできあがり。年長児の姿は、頼もしいです。年長児の姿から年中・年少児も近寄って来ては手伝ってくれます。収穫したものを、新鮮なうちに調理し、友だちと一緒に食べるのは、楽しいです。何でも食べて…大きくなあれ!

## ちゅと 編集者のひびく

こんにちは! 編集者のHです。

今回は、消防団春の総合訓練にお邪魔してきました。消防団の第1分団から第4分団までが日々の訓練の成果を発揮しました。団員の皆さん一人一人が真剣な表情で臨んでいました。結果は第4分団が総合優勝に輝きました。

優勝できた要因は何だったのか、とある団員さんにお聞きしたところ「常日頃からコミュニケーションを取り合うことでできたチームワーク」だそうです。訓練で共に汗を流しながらできた結晶のようだと感じました。科学技術の進歩で、お互いに離れた場所から携帯電話などを使って連絡を取り合うことが当たり前となった現代でも、顔を合わせて話をする、これがコミュニケーションの基本には変わりないようです。かと言って会話の中でも一方通行にならないように気を付けた方がいいですね(私自身はもっと会話に参加しなければいけません)。6月も終わりを迎え、遂に夏休みが近づいてきましたね。私は小学生ではありませんが、今年の夏は慣れ親しんだ町民プールに行ってみようかなと思います。残る梅雨空の幻想は打ち砕いて晴れにしてしまいたいですよ!(H)